

豊岡市城崎地域における公共施設に係るサウンディング型市場調査の結果について

1 趣旨

豊岡市城崎地域における以下の公共施設につきまして、利活用の方針を決定するため、民間事業者の市場性の有無や実現についての可能性を含めた利活用案(アイデア含む)などの意見を幅広く募るため、サウンディング型市場調査を実施しましたので、その概要を公表します。

なお、本調査においては、公表内容以外にも多くのご意見・ご提案をいただきましたが、参加事業者の知的財産保護の観点から、参加事業者の了承を得た内容のみを公表します。

＜サウンディング対象施設概要＞

	施設名	所在地	延床面積	階数
①	城崎文芸館	豊岡市城崎町湯島 357-1	1,081.41 m ²	地上2階
②	城崎麦わら細工伝承館	豊岡市城崎町湯島 376	77.27 m ²	地上2階
③	城崎健康福祉センター	豊岡市城崎町湯島 625-9	2,335.69 m ²	地上3階 地下1階
	※旧城崎町給食センター	豊岡市城崎町湯島 625-1	195.44 m ²	地上1階

※旧城崎町給食センターに関しては、城崎健康福祉センターと併せての利活用案の提案を条件としています。

2 サウンディングの実施スケジュール

実施要領の公表	2023年1月17日(火)
現地見学会(説明会)の開催	2023年2月1日(水)～同年2月8日(水)
サウンディングの実施	2023年3月14日(火)～同年3月17日(金)
実施結果概要の公表	2023年3月30日(木)

3 サウンディングの参加者

- (1) 現地見学会参加者：1者
- (2) サウンディング参加者：5者

4 サウンディング結果の概要 ※順不同

(1) 城崎文芸館へのご提案

- 江戸時代から約300年続く伝統行事「城崎秋まつり」のシンボルである「だんじり」の展示ブースを追加し、「文学」と「文化」の展示が共存する展示施設とする。また、主にインバウンドをターゲットとした施設運営を行う。
- 豊岡市の伝統農産物や特産農作物を活用した料理を提供する「bookカフェ」を併設する。
- 志賀直哉をはじめとした白樺派の作品や関連書籍を集めた入館者を限定するライブラリー兼ワークスペースを増設し、地域住民や観光客が一息つける空間づくりを行う。
- 城崎文芸館前に思わず通って写真を撮りたくなるモニュメントを設置する。
- 翻訳された日本文学作品を館内に設置し、長期滞在へとつなげる。

- 大学のゼミ合宿や研修旅行先として兵庫県や大学コンソーシアムなどの各団体と連携する。
- 住民の利活用として、図書館の分館機能を追加する。
- 城崎関連漫画企画展や志賀直哉作品漫画化を行い、コンテンツを拡充する。
- 志賀直哉コンテンツの拡充や、各展示間の関連性などを専門家(市内在住の学芸員方が望ましい)や豊岡市立美術館など、展示内容の見直しを行う。
- 漱石山房美術館/松岡子規記念館のようにデジタルパネル、ビデオ、音声ガイドを活用し、学芸員による案内を行う。
- 城崎文芸館内のショップ・サロンを他事業者へ運営を委託する。

(2) 城崎麦わら細工伝承館へのご提案

- 城崎文芸館と城崎麦わら細工伝承館の複合化と、各外湯への麦わら細工の展示を行う。
- 立地を活かした飲食店として利活用する。

(3) 城崎健康福祉センターへのご提案(旧城崎町給食センター含む)

- 城崎健康福祉センター、旧城崎町給食センターを含むエリアを一体的な観光施設として利活用する。

(4) その他まちづくりへのご提案

- デジタルサイネージ設置や Instagram や Facebook などの SNS と連動したデジタルマップを利用し、おすすめスポット等の情報発信を行う。
- モビリティポートをつくり、シェアサイクルやオンデマンドバスの発着点をつくり、他の観光エリアを結ぶ新たな移動サービスを提供する。
- 温泉を中心としたウォーキング、食などを含めた滞在型・体験型の新しいツアーを造成する。
- 多世代共生施設と地域交流施設と公園等を一体とした交流拠点をつくる。
- 各観光施設をつなげる周遊パスを作成する。
- 文学碑スタンプラリーを行う。
- Instagram や Facebook などの SNS などに加えて文学好きな方への認知度向上の為、全国で行われる文学フリマなどへ出展する。

5 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、施設の利活用案等に関するご提案をいただきました。今後はサウンディング結果を踏まえ、城崎温泉街に根付いている「まち全体が1つの旅館」という考え方に沿って、まちの方々と意見交換を行う予定をしています。